



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社 ノーリツ
 コード番号 5943 URL <https://www.noritz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 國井 総一郎
 (氏名) 竹中 昌之

上場取引所 東

TEL 078-391-3361

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	44,681	△12.1	△455	—	△290	—	△6,487	—
2019年12月期第1四半期	50,810	△5.0	711	△66.1	791	△65.9	325	△76.0

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △11,191百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 2,366百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年12月期第1四半期	△138.14	—	—	—
2019年12月期第1四半期	6.81	6.80	—	6.80

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2020年12月期第1四半期	186,384	102,695	102,695	114,801	53.2	55.7
2019年12月期	199,305	114,801	114,801	—	—	—

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 99,184百万円 2019年12月期 110,965百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年12月期	—	16.00	—	16.00	32.00	32.00
2020年12月期	—	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	87,700	△8.2	△1,650	—	△1,350	—	△7,900	—	△168.00
通期	190,000	△8.8	2,800	3.9	3,600	4.7	△4,600	—	△97.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	50,797,651 株	2019年12月期	50,797,651 株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	3,933,147 株	2019年12月期	3,774,143 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	46,967,840 株	2019年12月期1Q	47,810,657 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想に関しましては添付資料のP. 2をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2020年5月15日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に備えて緊急事態宣言が可能となる法案が成立し、景気悪化と個人消費の縮小から、事業活動や雇用の先行き不安につながる展開となりました。また海外経済においても、新型コロナウイルス感染が世界中で急速に拡大しパンデミックの状態となり、経済活動が大きく制約され、収束時期を見通せない危機的状況となりました。

国内住宅関連業界におきましては新設住宅着工戸数が前年を下回り、更新需要が微増に止まったことに加えて、中国における新型コロナウイルス感染拡大による経済活動停止によって住宅設備機器の一部納期遅延が発生する経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の制約に対処しつつ、国内外共に今後の飛躍に向けた構造改革フェーズとして収益構造と事業モデルの変革を企業価値向上につなげる取り組みを進めました。特に国内事業では、不採算分野である住設システム分野からの撤退に伴う同分野の受注停止と、ノーリツ単体における789名の希望退職を実施し、固定費の削減に取り組みしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高446億81百万円（前年同期比12.1%減）となりました。利益面につきましては、営業損失が4億55百万円（前年同期は7億11百万円の営業利益）、経常損失が2億90百万円（前年同期は7億91百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、希望退職の実施により発生した早期退職費用を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失64億87百万円（前年同期は3億25百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 国内事業

当第1四半期連結累計期間の国内事業セグメントは、売上高が374億69百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益が6億42百万円（同20.2%増）となりました。

温水空調分野では、新設需要が前年を下回り取替需要が微増に止まる中、「見まもり」「キレイ」機能を備えた主力商品「G T-C 6 2 シリーズ」を、またガス温水暖房付きふろ給湯器におきましては、浴室暖房乾燥機との連動によって「見まもり」機能をさらに強化した「G T H-C 6 1 シリーズ」を中心に高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しました。

厨房分野では中級グレードの「ピアット」と、自動でグリル調理が可能なマルチグリルに燻製や低温調理の機能を追加し、専用のスマートフォンアプリとの連携が可能となった高級グレードの新製品「プログレシリーズ」の販売に注力しました。また、グリル料理の楽しさを広める「毎日グリル部」の運営とあわせ、ガスビルトインコンロの拡販に努めました。

住設システム分野は事業撤退に伴い当第1四半期で受注を停止しましたが、国内事業全体で経費削減に努めたことにより減収増益となりました。

② 海外事業

当第1四半期連結累計期間の海外事業セグメントは、売上高が97億73百万円（同34.3%減）、セグメント損失が10億98百万円（前年同期は1億76百万円のセグメント利益）となりました。

北米においては、ノーリツアメリカ、昨年1月から新規連結したボイラーメーカーPB Heat及びFacilities Resource Groupの3社がそれぞれで商品、エリア、流通を補完しながら業用給湯器、ボイラー、暖房商品の拡販に努めました。豪州は業用給湯器の新製品の拡販が堅調に推移しました。そして中国においては、新型コロナウイルス感染拡大が事業活動全体に多大な影響を与えました。以上により海外事業全体で大幅な減収減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、1,863億84百万円（前連結会計年度末比129億20百万円減）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により1,078億97百万円（同100億24百万円減）となりました。また、固定資産は、投資有価証券が減少したこと等により784億86百万円（同28億95百万円減）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、支払手形及び買掛金が減少したこと等により836億89百万円（同8億14百万円減）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,026億95百万円（同121億5百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は53.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大による影響につきまして、今後の拡大規模やスピード、各国政府の動向、収束時期等不確定な要素が多く、当社グループの業績に影響を与える可能性があるものの、現時点でその影響額を合理的に見積もることが困難であるため、2020年2月13日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期連結業

績予想を据え置いております。なお、今後、状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,591	32,708
受取手形及び売掛金	46,345	36,453
電子記録債権	14,501	14,233
有価証券	612	595
たな卸資産	20,037	19,575
その他	5,209	4,696
貸倒引当金	△375	△365
流動資産合計	117,922	107,897
固定資産		
有形固定資産	35,969	34,533
無形固定資産		
のれん	2,063	1,955
その他	8,397	8,155
無形固定資産合計	10,460	10,111
投資その他の資産		
投資有価証券	29,464	24,538
その他	5,621	9,428
貸倒引当金	△134	△124
投資その他の資産合計	34,951	33,842
固定資産合計	81,382	78,486
資産合計	199,305	186,384
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,941	35,608
短期借入金	1,252	1,198
未払法人税等	523	385
賞与引当金	486	1,592
役員賞与引当金	12	—
製品保証引当金	873	833
製品事故処理費用引当金	36	35
その他	19,041	23,693
流動負債合計	63,167	63,348
固定負債		
役員退職慰労引当金	70	59
製品保証引当金	2,083	2,094
環境対策引当金	8	8
退職給付に係る負債	13,101	12,220
その他	6,071	5,958
固定負債合計	21,336	20,341
負債合計	84,503	83,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,167	20,167
資本剰余金	22,956	22,956
利益剰余金	66,347	59,107
自己株式	△6,106	△6,278
株主資本合計	103,365	95,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,897	6,444
繰延ヘッジ損益	—	△44
為替換算調整勘定	△41	△1,012
退職給付に係る調整累計額	△2,255	△2,156
その他の包括利益累計額合計	7,600	3,230
新株予約権	110	119
非支配株主持分	3,724	3,390
純資産合計	114,801	102,695
負債純資産合計	199,305	186,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	50,810	44,681
売上原価	35,046	31,769
売上総利益	15,764	12,911
販売費及び一般管理費	15,053	13,366
営業利益又は営業損失(△)	711	△455
営業外収益		
受取利息	55	48
受取配当金	57	105
受取賃貸料	38	38
為替差益	0	—
補助金収入	—	132
その他	15	76
営業外収益合計	166	401
営業外費用		
支払利息	35	26
固定資産賃貸費用	25	24
為替差損	—	82
支払手数料	5	4
操業停止費用	—	85
その他	20	12
営業外費用合計	86	236
経常利益又は経常損失(△)	791	△290
特別利益		
退職給付制度終了益	28	—
特別利益合計	28	—
特別損失		
固定資産処分損	7	6
投資有価証券評価損	—	51
減損損失	195	164
事業整理損失	—	436
早期退職費用	—	8,140
特別損失合計	202	8,800
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	617	△9,090
法人税、住民税及び事業税	398	241
法人税等調整額	△161	△2,595
法人税等合計	237	△2,354
四半期純利益又は四半期純損失(△)	380	△6,736
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	54	△248
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	325	△6,487

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	380	△6,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,334	△3,452
繰延ヘッジ損益	0	△44
為替換算調整勘定	551	△1,056
退職給付に係る調整額	99	98
その他の包括利益合計	1,986	△4,455
四半期包括利益	2,366	△11,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,221	△10,857
非支配株主に係る四半期包括利益	144	△333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,887	13,923	50,810	—	50,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,514	943	2,458	△2,458	—
計	38,402	14,867	53,269	△2,458	50,810
セグメント利益	534	176	711	—	711

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業	海外事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,801	8,880	44,681	—	44,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,668	893	2,561	△2,561	—
計	37,469	9,773	47,242	△2,561	44,681
セグメント利益又は損失(△)	642	△1,098	△455	—	△455

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。